

2024 年 11 月社員総会 招集ご通知

日程：2024 年 11 月 23 日（土）13:00

場所：東京都新宿区霞ヶ丘町4-2

ジャパン・スポーツ・オリンピック・スクエア

3 階 会議室8

公益社団法人日本フェンシング協会

FJE 委 2024-046 号

2024 年 11 月 6 日

社員各位（支部正会員各位）

公益社団法人日本フェンシング協会

会長 千田 健一

2024 年 11 月社員総会招集ご通知

向寒の候 正会員の皆様方には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃、当協会の諸事業に格別のご理解とご協力を賜り、協会を代表し厚く御礼申し上げます。

この度、令和 6 年 11 月総会を開催することとなりました。すでに皆様ご存じかと思いますが、今夏開催されましたパリ 2024 オリンピックにおいて、金メダル 2 個、銀メダル 1 個、銅メダル 2 個、メダル総数 5 個を獲得、メダル数ではヨーロッパ勢を押しよけ世界一となるなど、日本フェンシング界始まって以来最高の成績を収めることができました。この結果は選手たちの頑張りと関係者のご尽力が最大の要因ではありますが、選手たちがそれぞれの出身支部において地道に実力を重ね、ワールドカップ等で転戦する中で実力を磨き獲得したものでもあります。まさに各支部で育て上げたメダリスト誕生と言えましょう。そして、10 月 29 日には多数の皆様のご出席を賜り、代表選手団報告会・祝勝会を開催することができました。各支部とも財政難という状況にもかかわらずご協力・ご支援いただき、報告会・祝勝会の開催並びに報奨金の授与ができますこと、皆様のお力添えの賜物と深く感謝申し上げます。

今月から 2028 ロサンゼルスオリンピックに向けての新たなシーズンが開始されます。更なる高みを目指し、今後も協会一丸となって頑張っていきますので更なるご支援ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

また、現執行部は 2 年間の任期満了をこの 11 月に迎え、今回の総会を機に新たな理事による新執行部がスタートします。今回の理事改選で 6 名の現理事が退任となりますが、力不足の会長を補うべく全理事の皆さんが 2 年間本当に頑張ってくれました。様々な課題難題に真正面から取り組み、解決に向けて粉骨砕身、協会の発展に尽力していただきました。まだまだ多くの課題を抱えておりますが、選手たちの頑張りに応えるべく、支部の皆様と連携を図りながら、協会運営並びにフェンシング競技の普及発展、競技力向上に努めて参りますので、今後ともご支援の程よろしくお願い申し上げます。

結びに、支部あつての協会であります。今総会において正会員の皆様方と意見交換をしながら、より良い方向性を模索し協会改革に努めてまいりますので、ご多用のところ恐縮に存じますが是非総会へのご出席を賜り、様々な議論を重ねてまいりたいと存じますので何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

日時：2024 年 11 月 23 日（土）13:00 から

場所：ジャパン・スポーツ・オリンピック・スクエア 3 階 会議室 8

東京都新宿区霞ヶ丘町 4－2

目的事項：

【第 1 号議案】2024 年 8 月期（2023 年 9 月－2024 年 8 月）事業報告承認の件

【第 2 号議案】2024 年 8 月決算承認の件

【第 3 号議案】定款改訂の件

【第 4 号議案】理事選任の件

【第 5 号議案】代表理事候補者選出の件

【第 6 号議案】監事候補者選任の件

なお、社員総会までのスケジュールは同封の資料のとおりです。

以上

社員総会ご参考資料

目次

1. 議案及び参考事項	1
【第1号議案】2024年8月期（2023年9月－2024年8月）事業報告承認の件	
【第2号議案】2024年8月期（2023年9月－2024年8月）決算承認の件	
決算（補足ご説明）	
【第3号議案】定款改定の件	
【第4号議案】理事選任の件	
【第5号議案】代表理事選出の件	
【第6号議案】監事候補者選任の件	

- 別添資料1 第33回オリンピック競技大会報告書
- 別添資料2 決算報告書
- 別添資料3 理事候補者選考の根拠

1. 議案及び参考事項

【第1号議案】2024年8月期（2023年9月－2024年8月）事業報告承認の件

1. 事業報告

（1）定款 第4条第1号・・・フェンシング競技の普及並びに指導

1) 協会登録活動

協会登録については、4月から翌年3月を単位で実施をしているため、これに基づいてご説明いたします。

新型コロナウイルス感染症が5類になり、国内外の競技大会もようやく従来通りに開催できるようになりました。2023年の登録会員は6,795人に増加、前年比6%増加となりました。また、今後についてはパリオリンピックでのメダル獲得により、新規登録加入者、問い合わせ等があり、会員数増加が見込まれております。小学生の問い合わせもあり、課題としては受け入れ先となるクラブがまだまだ足りない状況にあるかと思えます。引き続き会員獲得の増加を目指します。

表 登録会員の推移

登録会員数推移								
年度	一般	大学生	高校生	中学生	小学生以下	合計	前年度差	備考
2007	1,251	582	1,887	421	384	4,525	－	
2008	1,302	613	1,938	440	437	4,730	205	オリンピック（北京）
2009	1,345	630	1,868	435	491	4,769	39	
2010	1,365	623	2,206	471	523	5,188	419	
2011	1,371	584	2,058	597	542	5,152	-36	登録会費改定
2012	1,363	646	2,238	590	536	5,373	221	オリンピック（ロンドン）
2013	1,409	705	2,360	650	575	5,699	326	登録区分変更
2014	1,396	722	2,330	682	626	5,756	57	
2015	1,228	771	2,311	682	558	5,550	-206	登録会費改定
2016	1,269	805	2,363	692	615	5,744	194	オリンピック（リオ）
2017	1,286	842	2,598	760	668	6,154	410	
2018	1,276	856	2,454	760	711	6,057	-97	
2019	1,247	820	2,346	764	780	5,957	-100	
2020	792	591	1,402	585	591	3,961	-1,996	感染症拡大
2021	1,226	891	2,190	855	631	5,793	1,832	登録費改定 オリンピック（東京）
2022	1,321	769	2,360	950	1,000	6,400	607	
2023	1,321	777	2,511	1,026	1,160	6,795	395	
2024	1,287	819	2,582	1,112	1,242	7,042	247	見込み
2024と2023 の比較	差	-34	42	71	86	247		
	比	97.4%	105.4%	102.8%	108.4%	107.1%	103.6%	

単位：人

登録区分別では、高校生と大学生で半数近くを占めるという構造は変わっていません。

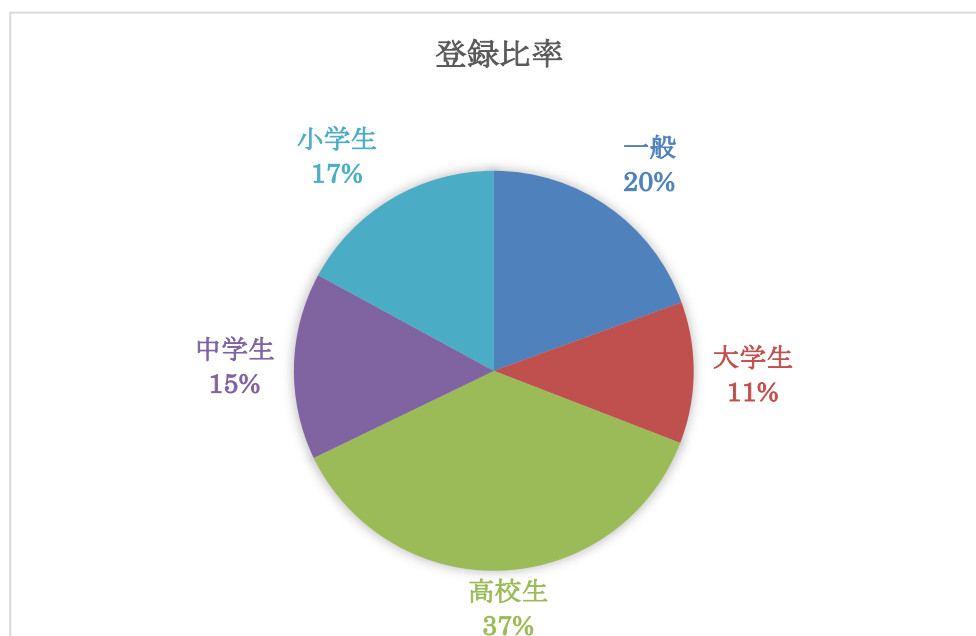


図 登録会員の内訳（2023 年）

男女別に見ると、各区分で男子の登録が女子よりも多く、特に「一般」では男子比率が高くなっています。

表 男女別登録会員（2023 年）

	男子	女子	合計	男子比率	女子比率
一般	997	324	1321	75.5%	24.5%
大学生	467	310	777	60.1%	39.9%
高校生	1425	1086	2511	56.8%	43.2%
中学生	634	392	1026	61.8%	38.2%
小学生	754	406	1160	65.0%	35.0%
合計	4277	2518	6795	62.9%	37.1%

2) 学校訪問活動

フェンシングの普及活動の一環として、学校訪問活動を継続しております。当初は、2020 東京オリンピックの開催地である千葉県の小中学校を往訪し、フェンシングの競技に直接触れるとともにオリンピックにおける応援の仕方を学ぶ機会を提供するイベントとして 2017 年度より企画・実施されました。その後、2019 年 3 月の協定を締結した渋谷区においても実施が開始されるなど、協会の普及活動として定着しています。

今季についても、千葉県、渋谷区での学校訪問活動を実施いたしました。

3) 部活動支援活動

フェンシングの普及活動の一環として、渋谷区において実施されている部活動改革プロジェクトの支援を行いました。これは渋谷区が外郭団体である一般社団法人渋谷ユナイテッドを通じて、複数の中学校の生徒が合同で参加できる部活動として実施しているものです。フェンシングがこの対象種目の一つとなっており、指導者を派遣いたしました。

4) 選手のセカンドキャリア形成

現在、「福岡フェンシングパーク」を福岡県古賀市に整備する計画が推進されていますが、ここでは、福岡県や地元企業の協力を受けながら、フェンシング競技の普及や強化に向けた事業を展開することとしています。会場地との折衝に時間がかかり、進捗が遅れています。

選手のセカンドキャリア形成に向けて、今後も検討を進めて取り組んでまいります。

5) 地方自治体との協力

前述の千葉県、渋谷区、福岡県だけでなく、佐賀県、沼津市ともフェンシングの普及に係る協力関係を構築しております。

(2) 定款 第4条第2号…日本選手権大会及びその他の競技会の開催

1) 全日本フェンシング選手権大会（個人戦）

全日本フェンシング選手権大会（個人戦）について、次の通り開催いたしました。

予選：2023年9月15日～16日（静岡県沼津市総合体育館）

決勝：2023年9月16日（静岡県沼津市総合体育館）

2) 全日本フェンシング選手権大会（団体戦）

全日本フェンシング選手権大会（団体戦）について、次の通り開催いたしました。

2023年12月（佐賀県佐賀市）SAGA サンライズプラザ

全日本フェンシング選手権大会（団体戦）については、例年国民スポーツ大会のリハーサル大会として開催しております。佐賀県佐賀市は、2024年国民スポーツ大会フェンシング競技の開催地です。

3) 高円宮杯

高円宮杯については、2026年アジア大会開催予定地愛知 SKY EXPOにて開催致しました。パリオリンピック前のアジアでの大会になり、200名を超える選手が参加致しました。男子団体戦では惜しくも4位となりました。

4) ランキングマッチ

選手選考の際のポイント対象の競技会としてランキングマッチ等を開催いたしました。

5) その他競技会

上記に加えて、全日本ベテランフェンシング選手権大会、全国中学生フェンシング選手権大会、全国小学生大会を開催いたしました。また、国民スポーツ大会フェンシング競技を主管するほか、関係団体からの申請に基づく競技会の共催をいたしました。

(3) 定款 第4条第3号 国際競技大会等への代表参加の選定及び派遣

1) 代表選手の選定について

シニア、ジュニア、カデのランキングポイント算出方法及び日本代表選手の選考方法等に従って日本代表選手等を選定し国際大会に派遣いたしました。

2) 第33回オリンピック競技大会について

2023年7月に開催された世界選手権大会に日本代表選手を派遣いたしました。結果は別添資料1のとおりです。

金メダル個人1、団体1、銀メダル団体1、銅メダル団体2と5個のメダルを獲得、輝かしい成績を収めました。また、国別メダル獲得数も世界1位となりました。正会員をはじめ、全国のフェンシング関係者の方々、フェンシングを応援していただいている方々に心より感謝申し上げます。資料1パリオリンピック大会成績

(4) 定款 第4条第4号・・・競技力向上事業の実施並びに調査研究

1) 強化事業の方針について

近年の傾向としては、ジュニア・カデクラスの継続的な強化や国際大会への派遣によって、複数のメダル獲得者が出てきており、ランキングもトップクラスに位置するなど、次代を担う選手の育成・強化については一定の評価が得られています。

このような中、2024年パリオリンピックを見据え強化事業を進めました。シニア代表クラスとともに2024パリ大会を担うジュニア・カデクラスの選手の強化にも重点を置きながら、ワールドカップ等への派遣や強化キャンプ等を実施し、成果に繋がりました。

2) 競技者育成事業について

スポーツ振興くじの助成金を活用し、競技者育成事業を2003年から実施しています。2008年からは「NAVI」と称し、ジュニア（U20）、カデ（U17）の 카테고리を中心に育成の取り組みを継続してまいりました。若年層の強化に力を注ぎ、ジュニア・カデの国際大会で優勝等、成果を残せるようになってきています。少年少女選手の多くがミニムキャンプに参加し、互いに切磋琢磨し、その後も継続的に環境整備に努めてきたことが、その要因としてあげることができます。今期もこの事業を継続して実施いたしました。

3) 指導者育成事業

フェンシング競技の競技力の向上及び普及発展のためには、継続的に質の高い指導者を全国に育成配置することが必須として、更新研修、指導者講習会専門科目コーチ 1、3、4 を開催してまいりました。

今期については指導者講習会専門科目コーチ 1、スタートコーチ研修会を開催致しました。

4) 審判員育成および派遣事業

審判員の育成、国際審判員派遣、国内大会への審判員派遣については、次のとおり実施致しました。

① 審判試験

- ・関東学連及び関西学連主催による審判講習会、審判試験の実施。
- ・全国中学生大会時における審判講習会、審判試験の実施。

② 審判員・役員の派遣

- ・全日本選手権（個人戦、団体戦）、JOC カップ、全国高等学校選抜フェンシング大会、全国高等学校総合体育大会フェンシング競技大会、国民スポーツ大会等に審判員を派遣致しました。

③ 国際審判員強化及び FIE 国際審判試験の受験支援

- ・全日本個人戦及び団体戦等国内主要大会への海外審判員の招聘による、国内審判員の育成・強化とネットワークの拡充。
- ・FIE ジュニア・カデワールドカップへの帯同審判員としての参加。
- ・FIE 審判試験のため、FCA 主催審判講習会ウェビナーへの積極的な参加。
- ・FIE 審判試験(マレーシア国クアラルンプール市)の受験。
- ・国際競技団体からの指名等により、国際大会に審判員等を派遣。

④ 審判員制度の見直しと審判員登録の強化

2016 年に審判員規定を定めましたが、現状を踏まえ将来的見地から、新たな審判員ライセンスと更新制度について検討しております。

また、当協会公認審判員は審判員登録が義務付けられており、当協会主催大会において審判員として参加できるのは国内審判員試験に合格し、審判員登録をしている審判員でなければなりません。この周知をさらに強化しました。

⑤ FIE 競技規則（競技規定・組織規定・用具規定）及び FIE 定款の更新の周知

FIE 競技規則が更新された場合には当協会ホームページの試合規則の中の FIE 競技規則に詳細を掲載しました。

⑥ FIE ルール変更等への迅速な対応

FIE 及び FCA との連携強化と情報収集を積極的に図っております。

⑦ 最優秀審判員の表彰

年間を通し、FIE 主催各大会及び当協会主催各大会に参加した審判員の中から、その実績と技術・そして指導力等を考慮した上で、最優秀審判員を選出し表彰することとしております。

5) 規則の制定および用具の安全に関する事業

安全の基準に関わるルールについては、機会あるごとに会員および用具販売業者等に周知し徹底してきました。また、当協会の主催する競技会においては、技術委員会（DT）と用具検査官（または担当）、審判員の三者が連携し、ルールの遵守と安全性確保に万全を期すようにしています。適合する用具を装着しない競技者は当協会・支部および全ての加盟団体等が開催する競技会、練習会等に参加できません。

ルールに関連する FIE からの通達については、早期に日本語に翻訳したものを関係者へ通知するとともに HP への掲載を速やかに行っています。

6) 競技会におけるドーピング検査

アンチ・ドーピング活動の一環として、全日本選手権（個人戦）、高円宮杯ワールドカップにおいてドーピング検査を実施しました。

7) 医学的サポート

医・科学委員会、JISS 内のトレーナーやドクターの協力を得て、トレーナーの人員確保を図るとともに、遠征や合宿に派遣して選手達の傷害を予防する体制（主要大会のみならず、競技の特性を踏まえた体制造り）を充実させています。今期については、世界的な新型コロナウイルス感染が減少し、国内で実施した大会においては、リスク管理が少なくなりました。HPSC においては引き続き感染症等のリスクに最大限の注意を払いました。このような環境下で選手の体力的・心理的負担が少なくなっていりましたが、更なる環境整備に努めて参ります。

（５）定款 第４条第５号・・・前各号に付随する一切の業務

1) 組織活動 協会基盤の整備

当協会登録者数に対応し、高校体育連盟、学生連盟および各支部への助成(登録費の還付)を行い、支部活動を支援しました。

2) 日本代表選手の行動規範等

当協会では、行動規範の策定とその周知徹底を図るとともに、選手への研修を継続して行っておりましたが、ジュニア・カデ選手数名による行動規範の重大な違反が発生致しました。当協会においては、コンプライアンス研修、再発防止の徹底を図り、引き続き行動規範の順守に注力してまいります。また、近年ソーシャルメディアの発達等を背景に、現状に即した対応が求められるようになって参りました。このような環境変化に対応して、日本代表選手の行動規範について改定を行っており、再度、この徹底と研修を行いました。

3) コーチや役員のコンプライアンス

スポーツ界の不祥事は選手に限らず、コーチや役員による不祥事あるいは不適切な事例がス

スポーツ界にて発生していることを踏まえ、コーチ、審判員、役員に対する倫理研修（暴力・セクハラ・パワハラ）を実施するとともに、日本代表選手と役員に加えコーチについても行動規範を策定し、法令順守に努めてまいります。

【第2号議案】2024年8月期（2023年9月－2024年8月）決算承認の件

決算

2023年8月期（2023年9月－2024年8月）の決算報告書(貸借対照表、正味財産増減計算書、附属明細書、附属目録)、監事監査報告書は別添資料2のとおりです。

（補足ご説明）

（1）全体概要

- ・2022年8月決算より決算期が8月に変更になっています。よって、当事業年度の対象期間も2023年9月から2024年8月となります。
- ・昨今の、物価の上昇、為替の変動（円安）により、各区分に於いて、経常費用の増加傾向が見られました。
- ・当事業年度は、全体として経常収益758百万円に対し、経常費用804百万円となり、経常収支は、マイナス45百万となりました。

（2）予算との比較

1) 経常収益

- ・登録会員数については小中学生層での増加傾向はみられましたが、受取年会費については、予算を5百万円下回りました。
- ・協賛金・広告費については、新規のスポンサー企業の獲得などもあり、予算を34百万上回りました。
- ・助成金の金額は予算を37百万円下回りました。2024年7月の社員総会で報告の通り、パリ五輪終了に伴い、今年度は更なる助成金の減額が見込まれます（2025年度予算案に織り込み済み）。
- ・受取負担金については、パリ五輪に向けた、海外競技会への参加（者）数の増加もあり、予算を115百万円上回りました。
- ・その他は、寄付金等の増額（含む新規の個人による寄付金）により、予算を14百万円上回りました。
- ・項目別の経常収益の状況は下表のとおりです。

表 2024年8月期の予算と決算の比較（経常収益）

単位：百万円

項目		2024年8月期 予算	2024年8月期 決算	差
受取会費	正会員費、登録会費	33	28	-5
事業収益	協賛金、広告費	47	81	34
委託金、助成金	助成金等	338	302	-37
受取負担金	参加者負担	207	322	115
その他		12	26	14
合計		638	758	120

注：四捨五入の影響で合計値が一致しない場合がある。

2) 経常費用

- ・競技開催事業は「全日本選手権」、「高円宮ワールドカップ」の首都圏外地域での開催により予算を 40 百万円超過致しました。
- ・発掘・育成事業では、次世代選手の育成、強化に向け、積極的に事業を展開した結果、予算を 18 百万円超過致しました。
- ・選手強化事業は、パリ五輪に向けた競技力の向上を目標に、海外競技会へ、積極的に選手を派遣したことで、予算を 133 百万円超過致しました。
- ・その他については、法人会計の管理費の一定割合を公益目的事業会計に振り分けした関係で、予算を 26 百万円下回りました。
- ・会計別の支出の状況は下表のとおりです。

表 2024 年 8 月期の予算と決算の比較（経常費用）

単位：百万円

区分		2024年8月期 予算	2024年8月期 決算	差
公益目的	競技開催事業	88	128	40
	発掘・育成・その他事業	148	166	18
	選手強化事業	364	497	133
	共通	4	5	1
その他		34	9	-26
合計		638	804	166

注：四捨五入の影響で合計値が一致しない場合がある。

【第 3 号議案】定款改定の件

内閣府公認認定委員会立ち入り調査により、定款第 11 条 2 項以降について現行では業務執行理事が理事全員となりとなりで業務執行理事を 1 名にしてはと助言を受け、理事会にて審議し下記の通り変更をしたく、定款改定を提案致します。

現行

(役 員)

第 11 条 本会には次の役員を置く。

(1) 理事 15 名以上 20 名以内

(2) 監事 2 名以内

2 理事の内 1 名を代表理事とし他の理事を業務執行理事とする。

3 代表理事は会長とし、その他の理事の中から副会長を 3 名以内、専務理事 1 名を定める。

4 第 3 項に定める理事以外から常務理事を定めることができる。

5 理事会決議により、業務執行理事の本会の業務執行の担当領域を定める。

改定後

2 理事の内 1 名を代表理事とする。

3 代表理事は会長とし、その他の理事の中から副会長を 3 名以内、専務理事 1 名を定める。

4 専務理事を業務執行理事とする。

5 第 3 項に定める理事以外から常務理事を定めることができる。

~~5 理事会決議により、業務執行理事の本会の業務執行の担当領域を定める。~~ 削除

【第 4 号議案】理事選任の件

本総社員会終結の時をもって次の理事（全理事）の任期が満了となります。

役職	氏名
会長	千田 健一
副会長	飯田 徳光
	小野寺 利浩
	釜谷 理恵
専務理事	辻村 眞一郎
常務理事	青木 雄介
	岡本 純典
	上津 孝光
	和田 潔
理事	菅原 智恵子
	杉山 文野
	曾良中 研司
	谷崎 瑠珂

	土肥 美智子
	諸江 克昭
	横井 浩治

役職ごとに五十音順

このため、理事の選任をお願いいたします。

役員候補者選考委員会において選出された理事候補者は次のとおりです。

氏名	新任／再任
青木 雄介	再任
内田 敏朗	新任
及川 あずさ	新任
釜谷 理恵	再任
上津 孝光	再任
菅原 智恵子	再任
杉山 文野	再任
曾良中 研司	再任
谷崎 瑠珂	再任
田中 弘一	新任
千田 健一	再任
恒松 健児	新任
友利 杏奈	新任
長倉 純平	新任
平野 博文	新任
前畑 順一	新任
山口 俊昭	新任
横井 浩治	再任
吉野谷 綾子	新任
和田 潔	再任

五十音順

理事候補者の選出根拠や各理事候補者の詳細等は別添資料 3 のとおりです。

【第 5 号議案】代表理事候補者選出の件

定款第 12 条第 2 項後段に従い、第 3 号議案で提案した理事候補者の中から代表理事候補者となる者 1 名の選出をお願いいたします。

なお、定款第 12 条第 2 項のとおり、代表理事は最終的には第 2 号議案で選出された理事からなる理事会において決議されることになります。

役員候補者選考委員会では代表理事として、千田健一氏を代表理事候補者として推薦致します。

(ご参考)

定款第 12 条

- 2 代表理事及び業務執行理事は理事会の決議によって理事の中から選任する。この場合において、理事会は、社員総会の決議により代表理事候補者を選出し、理事会において当該候補者を選定する方法によることができる。

【第 6 号議案】監事候補者選出の件

役員候補者選考委員会におきまして、監事について、任期 3 年を迎え「役員候補者選考規程」に基づき、選出し理事会にて承認致しました 2 名につきまして、総会にて決議をお願い致します。尚、現監事 清水 至は今期までで退任となります。

監事候補者 2 名

氏名	新任／再任
中村 規代実	再任
久保 直生	新任

会 長	千田 健一								
副会長	飯田 徳光	小野寺 利浩	釜谷 理恵						
専務理事	辻村 眞一郎								
常務理事	青木 雄介		岡本 純典	上津 孝光					
	和田 潔								
理 事	菅原 智恵子	杉山 文野	曾良中 研司	谷崎 瑠珂					
	土肥 美智子	諸江 克昭	横井 浩治						
監 事	清水 至		中村 規代実						